

* 学校評価について *

当園ではこの度、平成30年度の幼稚園学校評価として、**教職員自己評価及び学校関係者評価委員会**を実施しました。教職員一人ひとりが、自己を振り返ることで、園全体を見つめ直す機会となりました。又、評価委員会で皆様のご意見を頂き、それらを踏まえて今後の更なる教育活動、教職員の資質向上に努めて参りたいと思います。

下記に、当園の考えや取り組み、評価委員会の内容を記載致します。

1、本園の教育目標「おおらかで、明るく、たくましい子ども」を培う

- | | |
|--------------|-------------|
| 1、健康で明るい子ども | 5、自主性のある子ども |
| 2、思いやりのある子ども | 6、協調性のある子ども |
| 3、よく考える子ども | 7、礼儀正しい子ども |
| 4、根気のある子ども | |

2、H30年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

教職員が**自己評価を実施**することによって、自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

評価項目	取り組み状況
教育・保育内容の充実	園の目指す方向を共有し、教職員間で話し合ってきた。今後も教職員間で積極的に意見交換できるようにしていきたい。経験年数がある者を各学年リーダーとして配置し、指導を行った。
教職員の育成・評価・能力開発を図る	各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告しあうようにしていた。毎月キンダーカウンセラーの日を設け、保護者だけでなく、教職員の相談にも応じてもらっている。教育実習や職業体験を積極的に受け入れ、後進の指導にもあたった。
園の施設、設備、遊具、行事などの総点検	H30年度に全面芝生化を行った。常時、子どもの安全面で問題のある箇所については、主任や園長に報告し、修理などの対応をしている。
子どもの良さを認めて評価しようとした	一人ひとりの子どもの良さを認め、教職員が客観的に子どもを見る目を養うように努めていた。

規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行った	登園から降園までの一日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促していた。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をした	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会議等において提供し、共有化を図るように努めた。
園だより等のプリントやれんらくアプリを通して幼稚園の情報を発信していた	園の教育方針や取り組みを情報発信するように園だより等に記載し、取り組んでいた。
外部侵入者・来訪者に対して安全対策を講じ、安全管理・施設の衛生管理に努めた	適正な防犯体制を整え、園児の安全管理を行った。 又、職員の毎月の検便や年1回の健康診断を受診し、衛生管理を行っている。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図った	保護者との懇談会を実施や、後援会と会議をするとともに、行事について意見を求め、出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組んできた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

各自適切に自己点検・自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後は自己評価だけでなく、上司や園長からの客観的な評価もあった方が良い。施設面では芝生やビオトープ等の環境整備に力を入れており、子どもが安心・安全に遊べる環境になるように努力しており、概ね、目標が達成できた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
職員体制について	勤務年数は浅い職員が多い為、その職員に対して引き続き指導するとともに、意思疎通を強化していきたい。
行事の見直しについて	行事が多く、クラスの子どもの時間をゆったりと過ごすことがなかなかできていないこともあり、行事の在り方を見直す必要がある。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、おおむね良好であると認められる。
さらに充実した保育実践を行う為、研鑽を重ねていくようにとの事であった。

7、財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められている。